



Title	松石勝彦名誉教授著作目録
Author(s)	
Citation	一橋論叢, 121(6): 972-977
Issue Date	1999-06-01
Type	Departmental Bulletin Paper
Text Version	publisher
URL	http://doi.org/10.15057/10652
Right	

松石勝彦名誉教授著作目録

著書・編著書

『独占資本主義の価格理論』新評論, 1972年

『資本論研究』三嶺書房, 1983年

『経済原論講義』(岡本正氏と共編著)有斐閣, 1983年

『資本論の基本性格』大月書店, 1985年

『資本論の方法』青木書店, 1987年

『現代経済学入門』青木書店, 1988年

『マルクス経済学』青木書店, 1990年

『現代経済学入門』第2版(全面改訂版), 青木書店, 1991年

『現代資本主義と資本論』上・下(服部文男氏ほかと共著)新日本出版社, 1991年

『資本論の解明』青木書店, 1993年

『情報ネットワーク社会論』青木書店, 編著, 1994年

(第1章「情報社会論の大きな流れ」, 第2章「情報ネットワーク社会」執筆担当)

『コンピュータ制御生産と巨大独占企業』青木書店, 1998年

『情報ネットワーク経済論』青木書店, 編著, 1998年

(第1章「情報経済論の大きな流れ」, 第3章「情報ネットワーク生産」執筆担当)

論文

1) 経済原論関係:

「独占価格と生産価格」『経済論叢』(京都大学)第97巻第2号, 1966年2月。

「転形問題と費用価格—転形問題の解決(1)—」『経済論叢』第98巻第3号, 1966年9月.

「価値の生産価格への転形と費用価格—転形問題の解決(2)—」『経済論叢』第98巻第4号, 1966年10月.

「『貨幣の資本への転化』と宇野理論」『経済論叢』第99巻第2号, 1967年2月.

「生産価格と市場価値—『資本論』第III巻第10章の解明—」『土地制度史学』第38号, 1968年1月.

「利潤・平均利潤範疇と諸資本の競争—田中菊治氏の諸説によせて—」『経済論叢』第101巻第4号, 1968年4月.

「生産価格・市場価値形成メカニズムと宇野理論」『一橋論叢』第66巻第4号, 1971年10月.

「価値の生産価格への転形といわゆる転形問題」一橋大学研究年報『経済学研究』第16号, 1972年3月.

「マルクス経済学体系プランと『資本論』」『一橋論叢』第80巻第4号, 1978年10月.

「『資本論』と資本一般説」一橋大学研究年報『経済学研究』第22号 1979年3月.

「『資本一般』とは何か」『一橋論叢』第82巻第6号, 1979年12月.

「利潤論・生産価格論」岡本・宇佐美ほか監修『マルクス「資本論」の研究』下, 新日本出版社, 1980年10月, 所収.

「資本主義的生産の総過程と『費用価格と利潤』」『一橋論叢』第84巻第5号, 1980年11月.

「市場価値と超過利潤」『一橋論叢』第85巻第5号, 1981年5月.

「単純商品生産と資本主義的生産—冒頭商品の基本性格—」『一橋論叢』第89巻第1号, 1982年1月.

「マルクス経済学体系と一般的利潤率」『一橋論叢』第90巻第2号, 1983年8月.

「労働賃金」種瀬茂編著『資本論の研究』青木書店, 1986年2月, 所収.

「『資本論』第3部の意義と構造」『経済』第274号, 1987年2月.

「『資本論』の分析・上昇法」『一橋論叢』第98巻第2号, 1987年8月.

「現代資本主義と商品論(I)」『経済』第280号, 1987年8月.

「現代資本主義と商品論(II)—前編—」『経済』第281号, 1987年9月.

「現代資本主義と商品論(II)―後編―」『経済』第282号, 1987年10月.

「現代資本主義と貨幣論」『経済』第283号, 1987年11月.

「回転期間と資本前貸の大きさ・価値増殖」『経済論叢』(京都大学)第142巻第1号, 1988年7月.

「価値の生産価格への転化と費用価格の生産価格化」『経済』第310号, 1990年2月.

「周転時間対預付資本と価値増殖的影响」(中国語)中国南開大学『南開学報』哲学社会科学版, 1991年3月.

「相対的価値形態の内実とは何か」『大阪経大論集』第43巻第1号, 1992年5月.

「市場価値と超過利潤」, 本間要一郎・富塚良三編『資本論体系』第5巻, 所収, 1994年3月.

「価値と生産価格」, 同上

「相対的価値形態の内実と労働」『一橋論叢』第112巻第6号, 1994年12月.

2) 経済変動論関係:

「資本蓄積と恐慌」『一橋論叢』第61巻第4号, 1969年4月.

「好況過程における生産手段生産部門と消費手段生産部門との関連」『経済研究』(一橋大学経済研究所)第21巻第3号, 1970年7月.

“The Pattern of Development of Production-means producing Department and Consumption-means producing Department in the upward process of the Business Cycle”, *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 11, No. 2, February 1971.

「好況過程の二部門分析」一橋大学研究年報『経済学研究』第15号, 1971年3月.

“Two Departments Analysis of Production Structure during the Upswing of the Business Cycle”, *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 12, No. 1, June 1971.

「好況過程における利潤の増大・利潤率の上昇」一橋大学研究年報『経済学研究』第17号, 1973年3月.

「好況期における生産・蓄積・労働の動態」一橋大学研究年報『経済学研究』第18号, 1974年3月.

「好況期における物価騰貴と賃金上昇の遅れ」一橋大学研究年報『人文科学研究』第15号, 1975年3月.

「好況期の加速度蓄積機構」『一橋論叢』第75巻第5号, 1976年5月.

「諸資本の競争・信用と内在的矛盾」一橋大学研究年報『経済学研究』第20号, 1977年3月.

「生産と消費の矛盾の拡大・深化」『一橋論叢』第78巻第1号, 1977年7月.

「再生産表式と内在的矛盾」一橋大学研究年報『人文科学研究』第18号, 1978年3月.

3) 現代資本主義論関係:

「マルクス経済学と公害」『経済』第85号, 1971年5月.

「独占価格の実態分析」『経済』第111号, 1973年7月.

「最近の“物価狂乱”の主犯とその仕組み」『賃金と社会保障』(労働旬報社) No. 648, 1974年4月下旬号.

“Monopoly Prices in Japan,” *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 14, No. 2, February 1974.

「現代アメリカの階級構造と所得分配」, 坂寄・戸木田・野村・野沢編『現代の階級構成と所得分配』有斐閣, 1984年9月.

4) 社会主義経済と市場経済関係:

「社会主義と個人的所有の再建」『経済』第321号, 1991年1月.

5) 情報経済論関係:

「情報ネットワークの発展の世界史的位罫」『労働総研クォーターリー』No. 18, 1995年春季号.

「現代資本主義とオートメーション—情報ネットワーク生産の分析—」一橋大学研究年報『経済学研究』第37号, 1996年3月.

翻 訳

W. ミッチェル『景気循環論』(種瀬茂, 平井規之氏と共訳) 新評論, 1972年.

D. ハーヴェイ『空間編成の経済理論—資本の限界—』上・下(水岡不二雄ほかと共訳), 大明堂, 上・1989年, 下・1990年.

そ の 他

「資本の生産過程」, 『経済原論』(宮本義男編)有斐閣, 1969年.

「フィード・バック—社会の維持と変革—」『科学としての経済学』(杉原・尾上・置塩編)有斐閣, 1970年.

「利潤の平均利潤への転化」「転化形態としての『利潤』範疇」「生産価格と価値法則」「市場価値の概念」, 『新マルクス経済学講座』(島・宇高・大橋・宇佐美編, 第1巻)有斐閣, 1972年.

「回転が利潤率に及ぼす影響」「不変資本充用上の節約」, 『解説資本論』(3)(岡崎・松岡・深町編)有斐閣, 1979年.

「マルクス生誕100年とマルクス経済学」(種瀬茂氏と共同執筆)『経済学史学会年報』第7号, 1969年.

「『資本論』第1巻 資本の生産過程の論理構造」『経済』第109号, 1973年.

「シリーズ『講座 今日の日本文資本主義』の検討 第1回『現代帝国主義体制と日本資本主義』」『日本の科学者』第17巻11号, 1982年11月.

「経済原論をなぜ学ぶか」『経済』第253号, 1985年5月.

「種瀬茂先生の遺著『経済思想』に学ぶ」『科学と思想』第64号, 1987年4月.

「湾岸戦争は石油戦争だった」経済理論学会有志『湾岸戦争を問う』勁草出版サービスセンター, 1991年9月25日.

「はしがき」『資本論の研究』青木書店(種瀬茂編著), 1986年.

「はしがき」『現代資本主義論』青木書店(種瀬茂編), 1986年.

「はしがき」『経済思想』青木書店(種瀬茂著), 1986年.

「あとがき」『経済思想 追憶版』青木書店(種瀬茂著), 1986年.

「あとがき」『競争と恐慌』有斐閣(種瀬茂著), 1986年.

「編集後記」(「故種瀬茂先生追悼号」)『一橋論叢』第98巻第2号, 1987年8月.

「商品1」「商品2」「剰余価値の生産」「利潤の概念と利潤率の相違」「平均利潤と生産価格」「商業資本と商業利潤」, 『経済学用語の基礎知識』(荒憲治郎・種瀬茂編)有斐閣, 1974年.

「景気変動」「不況」「中間恐慌」「設備投資」「在庫循環」「建設循環」「コンドラチエフ循環」「キッチン循環」、『経済学辞典』大月書店，1979年。

「相対的過剰人口」「停滞的過剰人口」「流動的過剰人口」「受救貧民」、『社会学辞典』弘文堂，1988年。

「貨幣」「恐慌」「資本論」「商業資本」、『新版 日本史辞典』角川書店，1996年。

書評「桜井毅『生産価格の理論』」、『経済研究』第20巻第3号，1969年7月。

書評「西野勉『経済学と所有』」、『日本の科学者』第25巻第7号，1990年7月。

書評「大石雄爾『マルクスの生産価格論』」、『土地制度史学』第134号，1992年1月。